

# 婦人科腫瘍の治療のため当院に入院・通院されている患者さんの 診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>阪埜 浩司</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>
実務責任者	所属 <u>産婦人科</u> 職名 <u>専任講師</u> 氏名 <u>阪埜 浩司</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3819</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、阪埜浩司までご連絡をお願いします。

## 1 対象となる方

西暦2015年5月1日より2019年3月31日までの間に、慶應義塾大学医学部産婦人科にて、婦人科腫瘍性疾患の治療のため入院し、手術を受けた方を対象とします。なお、慶應義塾大学医学部産婦人科を受診前に何かしらの治療（手術や薬物治療、ホルモン治療などを含む）を受けた方は対象になりません。

## 2 研究課題名

次世代シーケンサーを用いた婦人科腫瘍の発症に関連するゲノム異常の探索と同定

## 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室・慶應義塾大学病院産婦人科

## 4 本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、婦人科領域における腫瘍性疾患の発症に、どのようなゲノム（遺伝子）の変化が関連しているのかを明らかにし、患者様ごとに最適と思われる治療法を確立・提供することです。本研究では、手術検体の病変部や周囲組織におけるゲノム変化と、患者様の血液中における生殖細胞系列（生まれつき）の遺伝子を解析し、両者を比較することで、腫瘍においてのみ発現しているゲノム変化を検出することを目指しています。

## 5 協力をお願いする内容

対象となる患者様の、診療記録(カルテ)、治療経過を分析します。また、患者様の血液ならびに、手術で得られた検体を用いて、ゲノム(遺伝子)の変化を解析します。研究対象として最大100名程度の患者の皆様の診療録及び、手術検体の情報を利用させていただきます。

## 6 本研究の実施期間

西暦2015年5月1日～2019年3月31日(予定)

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報(氏名と患者番号のみ)です。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 阪埜浩司

連絡先：03-5363-3819

以上